

新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分

(平成16年10月 第1回訂正分)

株式会社フライトシステムコンサルティング

ブックビルディング方式による募集の条件及びブックビルディング方式による売出しの条件等の決定に伴い証券取引法第7条により有価証券届出書の訂正届出書を平成16年10月13日に関東財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

新株式発行並びに株式売出届出目論見書の訂正理由

平成16年9月29日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、ブックビルディング方式による募集1,500株の募集の条件及びブックビルディング方式による売出し750株の売出しの条件並びにこの募集及び売出しに関し必要な事項を、平成16年10月12日開催の取締役会において決定しましたので、これらに関連する事項を訂正するため、並びに記載内容の一部を変更するため有価証券届出書の訂正届出書を提出しましたので、新株式発行並びに株式売出届出目論見書を訂正いたします。

訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には____ 罫を付し、ゴシック体で表記しております。

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行株式】

欄外注記の訂正

(注) 平成16年9月29日開催の取締役会決議によっております。

(注) 1の番号及び2の全文削除

2 【募集の方法】

平成16年10月20日に決定される引受価額にて引受人は買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(発行価格)で一般募集を行います。引受価額は平成16年10月12日開催の取締役会において決定された発行価額(221,000円)以上の価額となります。引受人は払込期日に引受価額の総額を当社に払込み、一般募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金といたします。当社は、引受人に対して引受手数料を支払いません。(略)

欄外注記の訂正

- (注) 3 発行価額の総額は、商法上の発行価額の総額であります。
4 資本組入額の総額は、平成16年10月12日開催の取締役会決議により決定した資本に組入れる額に基づき算出した金額であります。
5 仮条件(260,000円～290,000円)の平均価格(275,000円)で算出した場合、一般募集における発行価格の総額(見込額)は412,500,000円となります。

3 【募集の条件】

(2) 【ブックビルディング方式】

欄内の数値の訂正

「発行価額」の欄：「未定(注)11」を「221,000円」に訂正。

「資本組入額」の欄：「未定(注)11」を「110,500円」に訂正。

欄外注記の訂正

- (注) 9 仮条件は、260,000円以上290,000円以下の価格といたします。
当該仮条件は、事業内容、経営成績及び財政状況、事業内容等の一部が類似する公開会社との比較、価格算定の能力が高いと推定される機関投資家等の意見並びに需要見通し、現在の株式市況や最近の新規公開株式に対する市場の評価及び上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に勘案し決定致しました。
当該仮条件による需要状況、上場(売買開始)日までの価格変動リスク等を総合的に勘案した上で、平成16年10月20日に発行価格及び引受価額を決定する予定であります。
需要の申込の受付に当たり、引受人は、当社株式が市場において適正な評価を受けることを目的に、機関投資家等を中心に行う予定であります。
11 引受価額が発行価額(221,000円)を下回る場合は新株式の発行を中止いたします。
12 前記「2 募集の方法」の冒頭に記載のとおり、発行価格と平成16年10月13日に公告した発行価額(221,000円)及び平成16年10月20日に決定する引受価額とは各々異なります。発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。
13 新株式に対する配当起算日は、平成16年10月1日といたします。

(注)11の全文削除

4 【株式の引受け】

欄内の数値の訂正

「引受株式数」の欄の各引受人の引受株式数：「未定」を「みずほインベスターズ証券株式会社869株、大和証券エスエムビーシー株式会社338株、マネックス証券株式会社158株、オリックス証券株式会社45株、三菱証券株式会社45株、SMBCフレンド証券株式会社45株」に訂正。

欄外注記の訂正

- (注) 1 上記引受人と発行価格決定日(平成16年10月20日)に元引受契約を締結する予定であります。
2 引受人は、上記引受株式数の内20株程度を上限として、全国の証券会社に販売を委託する方針であります。

(注)1の全文削除

5 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

欄内の数値の訂正

「払込金額の総額」の欄：「358,800,000円」を「381,562,500円」に訂正。

「差引手取概算額」の欄：「340,800,000円」を「363,562,500円」に訂正。

欄外注記の訂正

(注) 1 払込金額の総額は、引受価額の総額であり、仮条件(260,000円～290,000円)の平均価格(275,000円)を基礎として算出した見込額であります。

(2) 【手取金の使途】

上記の手取概算額363,562千円については、当社の成長に資するために有効と思われる人材確保・開発・育成、及び研究開発のための資金ならびに当社事業にシナジー効果をもたらす事業先のM&Aや企業再編の資金等に充当する予定であります。それぞれ具体的な実施時期等については未定であるため、それまでの間は安全性の高い金融商品等で運用する予定であります。

第2 【売出要項】

1 【売出株式】

欄内の数値の訂正

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額」の欄：「195,000,000円」を「206,250,000円」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額」の欄：「195,000,000円」を「206,250,000円」に訂正。

欄外注記の訂正

(注) 3 売出価額の総額は、仮条件(260,000円～290,000円)の平均価格(275,000円)で算出した見込額ではありません。

第二部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

4 【事業等のリスク】

(6) 新株予約権の付与と株式の希薄化について

当社は、当社取締役および従業員等に対して業績向上への貢献意欲や経営への参加意識を高めるため、新株予約権(ストックオプションとして)のインセンティブプランを有しております。

新株予約権は平成16年8月31日現在従業員80名、取締役5名、監査役2名に対して付与しております。同予約権に関する潜在株は1,974株であり、発行済株式総数の24.3%に相当しております。付与された新株予約権の行使により発行された新株は、将来的に当社株式上場後の当社株式価値の希薄化や株式売上の需給への影響をもたらし、当社株価形成へ影響する可能性があります。

新株予約権の詳細は「第二部 企業情報 第4 提出会社の状況 1 株式等の状況 (2)新株予約権等の状況」をご参照ください。

第5 【経理の状況】

1 【財務諸表等】

【有形固定資産等明細表】

欄内の数値の訂正

「無形固定資産形」の「当期末減価償却累計額又は償却累計額」の欄：「 」を「3,056」に訂正。

「無形固定資産計」の「当期償却額」の欄：「 」を「839」に訂正。